

3. Olfactory neuroblastoma の組織学的検討

1. はじめに

Olfactory neuroblastomaは嗅粘膜の神経系細胞や支持細胞に由来されると考えられている比較的まれな腫瘍である¹⁾。今回生検材料から診断した3例の Olfactory neuroblastoma について病理組織学的に検討をおこなった。

2. 材料および方法

長崎大学附属病院で“Olfactory neuroblastoma”と病理診断された生検材料の3症例を用いた。試料は H.E. 染色, PAS 染色, グリメリウス染色, アザンマロリー染色を施し顕微鏡的に検索した。免疫組織学的には neuron-specific enolase (NSE), glial fibrillary acidic protein (GFAP), ケラチン, epithelial membrane antigen (EMA) について検討した。またパラフィンブロックより電顕試料を作製し電顕的検索を加えた。

3. 症例および結果

臨床的所見は表1に示す通りである。症例1では50Gyの放射線照射後、3ヶ月後頸部リンパ節に転移がみられた。病理学的所見は症例1では腫瘍は分葉構造をしめし一部で壊死像や核分裂像もみられた。また一部に線維性の背景もみられた。管腔構造が一部にみられたが明らかな rosette はみられなかった。PAS 染色は陽性(グリコーゲン)であった。免疫組織学的にはNSE(+)で一部の細胞でS 100(+)であった。また管腔構造をしめす部分の細胞主体にケラチン, EMA ともに陽性であった(表2)。

電顕では一部の腫瘍細胞に tonofilaments がみられた。転移巣では扁平上皮への分化や Flexner typeの rosette 様構造が一部にみられた。管腔内にムチカルミン陽性であったが腫瘍細胞は陰性であった。

症例2では分葉構造はみられたが線維性の背景に乏しかった。明かな rosette は認められなかった。免疫組織学的にはNSE(+), S-100(-), Keratin(-), EMA(-)であった(表2)。

症例3では壊死は目立たず核分裂像もみられなかった。線維性背景がみられたが rosette はみられなかった。PAS 染色は陽性(グリコーゲン)であった。免疫組織学的にはNSE(+), S-100(-), ケラチン(-), EMA(-)であった(表2)。電顕的検索では神経分泌顆粒をおもわず所見がみられた。

4. 考 察

症例1, 3では放射線治療および化学療法で原発巣の腫瘍の消失がみられた。3症例ともNSEは陽性であったがグリメリウス染色が陽性であったのは症例1のみであった。症例1, 2では胞体内にグリコーゲンが豊富にみられたがこれは嗅粘膜の支持細胞に由来すると考えられた。症例1では原発巣でケラチン陽性で tonofilaments を有する細胞とS-100に陽性の細胞がみられた。さらに放射線治療後、転移巣で olfactory rosette 様構造や扁平上皮への分化がみられ本腫瘍が嗅粘膜の基底細胞に由来するものと考えられた。olfactory neuroblastoma は神経の性格と上皮性の性格をもち¹⁾治療などにより上皮性

への分化を強く示すなど、本腫瘍の histogenesis の観点から興味深い。

blastoma I. Electron microscopy of typical human case. Path Res Pract 180 : 516-520, 1985

5. 文 献

1) Spalke G, Mennel HD and Martin G ; Histogenesis of olfactory neuro-

[本研究は第33回日本神経病理学会総会 (平成4年5月13日, 新潟市) にて発表した。]

表1. 臨床所見および治療

| 症 例 | 年齢/性 | 部 位 | 症 状 | 治 療 | 転 移 |
|-----|------|------------------|--------------|------------|-----|
| 1 | 78/M | 鼻腔・篩骨洞 | 鼻閉鼻出血 | 60 Gy | (+) |
| 2 | 74/M | 鼻腔・上顎洞 | 鼻 閉 | 70 Gy・化学療法 | (-) |
| 3 | 37/F | 鼻腔・上顎洞 篩骨洞・眼窩 | 鼻閉・頭痛 複 視 | 70 Gy・化学療法 | (-) |

表2. 免疫組織学的結果

| 症 例 | NSE | GFAP | S-100 | ケラチン | EMA |
|-----|-----|------|-------|------|-----|
| 1 | (+) | (-) | (+) | (+) | (+) |
| 2 | (+) | (-) | (-) | (-) | (-) |
| 3 | (+) | (-) | (-) | (-) | (-) |

NSE, neuron-specific enolase; EMA, epithelial membrane antigen GFAP, glial fibrillary acidic protein